



2006年6月発行 第39号

特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

## 理事長に就任して

岡 野 正 彦

第7回通常総会において理事として承認され、直後の理事会で新しい理事の方々から推挙されて、図らずも理事長をお引き受けすることになりました。

鎌倉市市民活動センター運営会議に入会して5年目、この間、研修部会ではフォーラムの開催、財政部会では「かまくらファンド」の実施などの活動をしてきましたが、理事長としてのこれからの2年間を思うとき、日が経つにつれ、その重大さと、重い責任を感じている次第です。しかしお引き受けした以上、会の運営は明るく・楽しくをモットーに、これまでの運営会議の活動を検分しながら、総会において承認された事業計画を推し進めるよう尽力したいと思っております。

これからの2年間は、4月からの指定管理者としての技量が試される時期であると同時に、当運営会議の十周年を2年後に控え、その記念事業の準備期間でもあるということで、改めて時期の重大性を認識させられています。

今、時代も大きな転換期にあり、当運営会議でも市民および活動団体は当運営会議に何を求め、何が必要なのかの把握に努め、運営に反映させるよう心掛けなければならないでしょう。このためには、会員相互のコミュニケーションの場づくり、また、市民および活動団体との対話フォーラムの開催なども必要です。

理事会では、より高邁なビジョンとミッションを打ち立て、これを基に建設的で活発な議論が展開されることが望まれます。と同時に理事・監事等役員には、何をなすべきかを明確にし、活発な活動と責任ある行動を期待します。

最後に、会員や利用登録団体の方々の要望への迅速な対応や利用しやすい環境作りなどをはじめとして、当運営会議の信頼度を高めるよう、改革にも努めていきたいと思っております。会員の方々のご協力をお願い申し上げます。

# 第8回かまくら市民活動の日 フェスティバル 開催

平成 18 年 5 月 13 日  
～14 日

「NPOって なあに!!」



喫茶コーナー



かまくら似顔絵倶楽部



鎌倉市市民健康課による  
血圧測定コーナー



図とも「おほなし会」





バルーンアート



犯罪から鎌倉を守る会



輝き・遊っ子楽っこ

～折り紙～



和太鼓「弾」

打つ人・聞く人が同化する  
パフォーマンス



玉縄ハーモニカクラブ演奏

不順な天候にもかかわらず、「第8回かまくら市民活動の日フェスティバル」の「館内展示」「館内外のパフォーマンス」に多くの利用団体及び賛助会員・市民等の来場をいただきましたことを心より感謝すると共にお礼申し上げます。

早速ですが、「反省会」のおり発案された「第9回かまくら市民活動の日フェスティバル」の**実行委員会**を立ち上げたいと思います。「実行委員」を募集しますので参加をお願い致します。

◇ 第1回実行委員会開催日：平成18年7月13日（木）午後1時～3時 NPOセンター大船

第8回かまくら市民活動の日フェスティバル実行委員会実行委員一同（文責・佐藤二郎）

### 鎌倉風致保存会

部屋に入ると中央のテーブルに数々の木の実、小枝、乾いた葉が数多くおいてある。

その周りで子どもたちが夢中になって何かを作っている。やがて小鳥とかトンボ・恐竜の形になっていく。この部屋は鎌倉風致保存会が主催のネイチャークラフトの部屋である。

この団体は、普段は山の手入れ、下草刈り、間伐、枝打ちなどを行っている。

今日は、その合間に集められた木の实、木の葉、小枝を使って子どもたちにネイチャークラフトを指導していた。

大人の私まで知らず知らずのうちに夢中になってしまった。(W. M)



連絡先：0467-23-6621（事務局）

### 鎌倉シチズンネット(KCN)

KCNのジュニア部会が小学生向けパソコン講座としてプリクラ・ねこパズル・パラパラアニメを企画されました。特にプリクラ『写真シールを作ろう!』コーナーは子どもにも大人にも大人気でした。

デジカメで写真撮影した後、パソコンで「ラベルマイティ」というソフトを使って、好きなデザインを4つ選び、専用シールに印刷してお持ち帰り頂くという内容でした。すぐに出来上がったシールを頂いた体験者の方々は大喜びでした。

毎月1回、鎌倉生涯学習センターにてジュニア向けの楽しいパソコン講座を実施されております。他にもいろいろと企画されていますのでお問い合わせください。(H. F)

連絡先：0467-24-2959（鍋島）



## 「登録団体見て歩き」

### 「かまくら緑のレンジャー」「玉縄地区緑ボランティアの会」

5月13日のフェスティバル会場で「玉縄地区緑ボランティアの会」と「かまくら緑のレンジャー」共同の各種体験教室で、講師の砂山さんにお話を伺いました。

ボランティアを始められたきっかけはリタイア後、大自然のなかで活動したいと思いつき、同好の方々と一緒に市内の神社仏閣や歴史的建造物・遺構等を取り巻く緑の保全の



為、下草刈り・枝下ろし・風倒木の除去を行ったことでした。又地域の保全緑地や保育園及び福祉施設等の植栽の手入れに生きがいを感じておられるそうです。今日のフェスティバルでは何で紙漉きと思われるかもしれませんが、下草刈りや木を切ったあとに植樹をしながら和紙を含めた紙の材料を植えたい・・・との思いが今日の体験教室のテーマの一つになったとのこと。そこで和紙の原料のコースを15gいただき参加者全員で夢中でシェークしたりドライフラワーをいれたりワイワイ楽しく童心に返りました。会場では、その他、竹細工で作ったリュックサックの背当や洋酒の空き瓶製電気スタンド・空石油缶製燻製釜等リサイクル作品の作り方などを見せて頂きました。(M. Y)

連絡先：0467-46-3907（砂山）

〜〜〜今回の「登録団体見て歩き」は  
フェスティバル参加団体のパフォーマンスを取材しました〜〜〜

### 玉縄歴史の会

郷土の歴史を学習し、語り継ぐ活動をしておられる「玉縄歴史の会」は、今回「史跡めぐり」を企画されました。その様子を水埜信行さんに紹介していただきました。

「へえー、そうだったんですか!」。案内人の説明に参加者が大きく頷いています。その顔は、今まで知らなかった史実を知った喜びに輝いているようです。フェスティバル恒例となった、わが玉縄歴史の会による「玉縄城ゆかりの史跡めぐり」も3年目。



今年は「玉縄城を守った神々」として、神社やお稲荷さんを巡りました。両日とも生憎の空模様でしたが、小中学生も含めて64人の皆さんが参加され、郷土の歴史への関心の深さを肌で感じたものです。

連絡先：0467-46-2201（山田）





## かまくら団塊プロジェクト

# 団塊世代 地域デビュー支援

～体験報告会の後、行われた実地体験に参加された皆さんの体験談です～

### NPOセンターでの体験

期待を抱きながらの「団塊世代の地域デビュー支援事業」参加でしたが、予想以上の参加者で会場は溢れ、関心の高さを痛感しました。

一昔前とは違い時間の使い方も人それぞれ。価値観もライフスタイルもさまざまな今だからこそ必要な内容だと同感いたします。私も早い時期からボランティア活動と仕事の両立をした事によって充実した年月を過ごせたと思います。

多忙な時や人間関係で大変な事があっても続けられてこれたのは、やはり必要とされている事や、喜んでいただいた時の達成感を味わった事で、言葉では表現できない魅力があります。

これからも多くの方が興味を持って関わっていただきたいと思います。

NPO センター事務局の募集がありましたらお知らせくださいませ。(須藤 祥子)



### 「ベルの会」で体験して

朝 10 時から 15 時まで一日すごく充実した日でした。多くの人たち、年齢も様々でびっくりしました。「すべて手作り」にも感動。手書きの「お品書き」。しかも筆で書いてあり枚数も 100 枚でした。お弁当箱、ふろしきなど考えてあり、この食事を楽しみに待っていらっしゃる笑顔が目につきました。賄い食にも驚きました。残った食材、切れはしもすべて使いきるという技にも感動でした。献立も色々心配りができていて「高齢者に食べやすい切り方、味を」と考えてありました。

今までは、自分や家族のために使っていた時間を他の方のために使うことで、自分自身の成長につながると思いました。「ベルの会」に入会して微力ながら力になりたいと思いました。

(布施 和美)



### 日本語COSMOS参観記

外国人に日本語を教えることは大変なことであろうと思い、私が NPO センターの研修部会に属していることもあって参観させていただきました。

学習は 1 名の先生に対して 4～5 名の生徒をグループとして、初級・中級・上級と組み分けして進められ、日本語

のみで外国語は一切使われない。受講生は日本人男性と結婚した女性が最も多い(これは私の予想外でした)。また、中国人が最も多く、東南アジア、南米、欧米、アフリカと多国籍である。言葉の言い回し、ニュアンスを生き生きとしたやり取りをしながら習得させている。

参観後、講師の方々と懇談させていただきましたが、「受講生のレベルは様々で、1 人 1 人に対して対応した準備が必要なので、講習時間の 2～3 倍の準備時間が必要であるが、それが報われることに喜びを感じる」と言っておられた。講師の方々の熱情が伝わってきました。

このような陰の力に行政の光を与えて頂きたいと痛感いたしました。(奥野 晃)



### 中央公園を守る市民の会に参加して

定年後、どの様に過ごしたらいいのだろうか？ 今日まであまり考えもしなかった現実がすぐそこまで来ているのです。地域社会にうまく溶け込んでいけるだろうか、となり近所の皆様と仲良くできるのか？ そんな不安に少しでも参考になればとの思いで参加しました。

私の家の周りは緑も多く、季節の変化を感じることが出来、いつまでも変わらないことを願っていますが、周辺の環境が変わってきています。里山の整備等、行政の力だけでは不十分だと思います。中央公園等、ボランティアの力で、ずい分整備され、動植物の環境が良くなり、私達の生活環境にも良い影響を及ぼしています。

まずは、自分自身の体力を考え無理せず永く続けられるサークルやグループに参加したいと考えています。(浜川 卓哉)



※ 紙面の都合上、内容を一部省略させていただきました。

## 総会開催

第 7 回通常総会が、5 月 26 日 18 時より NPO センター大船にて開催されました。新しく正会員になられたメンバーも大多数参加され、出席者は 34 名でした。橋爪理事長の挨拶に続き、渡邊事務局長より 17 年度事業報告が行われました。17 年 7 月公表された「指定管理者制度」導入に伴う当センターの応募、市の選定、そして当運営会議の指定管理者としての決定、基本協定、年度協定合意までの詳しい経緯が説明されました。



その後、会計報告、事業計画、収支予算についても、滞りなく承認され、役員の選出が行われました。18 年度は、新たに 8 名の理事、2 名の監事の方々が選挙により選ばれました。「指定管理者」としてスタートする重要なこの時期、市民活動の拠点として、市民パワーの支援という役割をどのように担っていくべきか、行政との協働をいかに推進していくべきか、センターの「原点」を大切にしつつ、解決していかななくてはならない課題も山積しています。ハード面においても、センターの利用状況は両センターとも増加傾向にあります。鎌倉の会議室利用については、2 団体併用の場合の騒音問題などもあります。

役員の方々のみではなく、会員の方々が、設立時からの「自ら汗する精神」を大いに発揮して、方向を見失うことなく、確かな足跡を刻んで行きたいものです。(榎本 春子)

|     |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 理事長 | 岡野 正彦 |       |       |       |
| 理 事 | 一木千恵子 | 岡崎佐恵子 | 北村 慶一 | 塩川友弥子 |
|     | 中島 光子 | 平井 嵩  | 吉野 功  |       |
| 監 事 | 佐藤 二郎 | 吉川 昇  |       |       |

## 特集

### 組 織 研 究 部 会

先日、葛原が岡から長谷大仏に至るハイキングコースから、佐助稲荷近くの傍道に降りて野村総研跡地へと下る山道を歩いてみた。この小道はボランティアの皆さんが整備されているのか、一人が歩くには十分な整備がされ、所々に測量の跡も見られた。また、鎌倉市の標石も打ち込まれていた。この「道」としての機能を十分に果たしていた。歩をすすめるほどに、梶原方面の山々の所々に大きな桜の木が展望され、燃えるような新緑の中で、ひととき美しい眺望を繰り広げていた。更に行くと人声が聞こえ、目の前が急に開け、そこには野村総研のグラウンドが現れた。何十人かの子どもや大人がぐるりぐるりと輪をつくって、お花見をしている。グラウンドの傍らには大きな桜の木が五分咲きの花をつけて、訪れる人々を迎えているようであったが、街中の公園のお花見風情とは全く違って、人々の談笑が少しもうるさくなく、自然の中に吸い込まれていた。



野村総研跡地

話は突然変わるが、この野村総研跡の土地（約 1 6 万 m<sup>2</sup>）と建物をいかに活用するかという検討が平成 1 4 年の寄贈以降、鎌倉市によって続けられている。鎌倉 NPO センターでも、組織研究部会を中心に検討が続けられている。市の案は、この跡地の自然と既存の建物（約 14, 000 m<sup>2</sup>）を利用して、ここに自然、歴史、美術をテーマとする複合博物館と市民活動の交流拠点になる市民活動交流館を設置することを考えている。

しかし、この構想を実現するには、様々な課題をクリアしなければならない。一つには、子どもを含む市民と観光客を含めた外来者の活発な利用をどのように担保するか、そのためのコンセプトやノウハウを如何にして構築するか、特に NPO の立場としては、この施設の運営に如何に多くの様々な市民の参加、参画が保障され、創造的な市民活力が発揮されるかが焦点になると思われる。しかし、現状は、なお模索状態のように思える。市民力を活かした運営を実現するためには、様々な課題をクリアしなければならないが、その第一歩として、この施設（含む土地）の活用に関する市民ニーズの把握が必要と思われる。しかし、市民ニーズの把握は充分とはいえない。鎌倉市民活動センター運営会議（鎌倉 NPO センター）としては、差し当たり約 3 0 0 の登録団体のこのことに対する要求や意見を把握する必要がある。そのようなことで、組織研究部会としては、差し当たり、参加登録団体にこの問題でのアンケート調査を行い、その調査結果を踏まえて、まずは鎌倉 NPO 内の意見の統一を目指したらどうかと考えている

(組織研究部会 柳下 実)

## イベント情報

### 腰越・神戸川の清掃

広町に湧き、津村を潤し、腰越漁港に流れ出る神戸川。神戸川の清掃を腰越中学校の生徒と共に行います。

日 時：6月25日(日)、7月23日(日)  
8月20日(日)、10月1日(日)  
午前10時集合 ※雨天中止  
場 所：腰越支所前  
持 ち 物：長靴、タオル など  
主 催：腰越まちづくり市民懇話会  
問合せ先：TEL/FAX:0467-32-1478(市川)

### ビーチパトロール

海浜利用者に携帯灰皿やゴミ袋を配りながら「タバコの吸殻ポイ捨て防止」「ゴミの持ち帰り」を呼びかけます。

日 時：7月下旬～8月末の海水浴期間中  
土、日は強化(空いている時間のみでOK)  
場 所：由比ガ浜海岸、材木座海岸  
特記事項：炎天下の砂浜を歩く場合あり  
主 催：鎌倉の海を守る会  
問合せ先：TEL:0467-23-8284(オクダスタイル材木座)  
TEL:0467-22-9571(ウェットランド)

### AMDA鎌倉クラブ チャリティコンサートⅧ

#### 日中友好音楽交流のつどい

日 時：8月26日(土)14:00(開場13:30)  
場 所：鎌倉芸術館 小ホール  
入 場 料：前売り2500円 当日2900円  
出 演：姜小青(中国箏) 馬平(中国打楽器) 他  
主 催：AMDA鎌倉クラブ  
問合せ先：TEL:090-4667-7298(事務局・吉田方)  
Eメール:yoshida.isao@nttcom-east.co.jp

### ミニ・オリエンテーリング

#### オリエンテーリングの入門教室(30～60分で廻れるコース)

日 時：6月18日(日)、7月2日(日)  
受付:正午～14時 終了:17時  
場 所：鎌倉生涯学習センター・集会室  
講 師：オリエンテーリングインストラクター 甘利昌俊 他  
持 ち 物：方位磁石  
資 料 代：500円(中学生以下無料) 完歩賞100円負担  
主 催：鎌倉ウォークラリー研究協議会  
問合せ先：TEL:046-871-3638(渡辺シヅエ)

### ミニコラム

#### 「ルールというもの」

国内社会であれ、国際社会であれ、とくに21世紀に入ってからあちこちで不幸で悲惨な事件やニュースがあとを絶たない。考えてみれば、イラク戦争をはじめとしてほとんどすべてのできごとの原因としてルール無視やルール違反があることに気づかせられる。

世界遺産リストにも登録されている広島原爆ドームのそばには、超高層マンションが建設されようとしている。当然のことながら、自然と文化の環境と景観を守れ、という住民運動が起こっている。

どんなスポーツでもルールというものがあるように、世の中にもさまざまなルールというものがあるということをいま一度考えてみたいのである。このマンション建設問題では、マンション建築業者は金儲けを目的に建築したがっているわけだが、企業は金儲けのためには一切のルールを無視してもよいのだろうか、という問題があるのである。

フランスでは世論の支持も得ながら労働者や学生が全国300万人のデモやストでもってついに企業が若者を勝手に首にできるという「初採用計画」(CPE)を撤回させることに成功したばかりである。その影響はドイツにも及び、大連立政権が合意していた青年の解雇規制緩和と政策が凍結されるという動きも生まれている。フランスのCPEは25才以下の青年なら、採用から2年以内は自由に首が切れるという内容であった。企業にも社会的責任として、雇用、製品の品質管理、環境保全などに関して守るべきルールがあるのである。日本では、いまそのルールが破られて、大企業のやりたい放題がまかり通ろうとしているわけである。

資本主義には、つぎの三つの型—アメリカ型の株式資本主義、ヨーロッパ型の社会資本主義、日本型の法人資本主義—があるといわれているが、いまの日本は大企業資本主義です。そこでは住民や顧客、株主のすべてが軽視される傾向にある。社会問題化しているマンション耐震偽装問題は居住者無視の大建築会社本位のやり方に根ざす典型例だといえよう。ちなみにライブドア問題はアメリカ型株式資本主義の産物であって、ホリエモンによって株の分割をはじめとする株価つりあげの諸操作や粉飾決算などがなされたのである。望むらくは、日本も法人(大企業)中心主義から、アメリカ型ではなく企業の社会的責任をはじめルールのあるヨーロッパ型資本主義への方向性を探求すべきところへ来ているというべきであろう。

【 はただしげお ・ 国際政治学者 ・ 鎌倉市笛田在住 】



## 事務局だより

### かまくら市民活動ガイドブック完成

皆様のご協力により新しい「かまくら市民活動ガイドブック」が出来上がりました。1冊 200円で頒布いたします。利用登録団体には1冊を、原稿をお寄せくださった団体には2冊をお送りいたします。ご活用ください。

### プロジェクターが2台になりました

鎌倉センターに新しいプロジェクターが入りました。小型で使いやすくなりました。ご利用ください。今までのプロジェクターは大船センターに常備します。新しいプロジェクターの使用料金は1500円です。(有料の講演会などに使用の場合は2500円となります)

旧プロジェクターの使用料は現行どおり1000円です。

### 大船センターの紙折り機が変わりました

大船センターの紙折り機の機種が変わり、A3サイズにも対応できるようになりました。鎌倉センターに入った紙折り機も新しく使いやすくなりましたので、ご利用ください。

使用方法など不明な点はスタッフに声をおかけください。

### 会員募集中 !!

#### 市民運営を応援してください

個人正会員 年会費 2000円  
個人賛助会員 年会費 2000円以上 (一口 1000円)  
団体賛助会員 年会費 3000円以上 (一口 1000円)  
(郵便振替) 口座番号 00280-4-36386  
口座名 鎌倉NPOセンター運営会議

正会員数: 81名(6月1日現在)

平成 18 年 6 月 1 日現在 利用登録団体数: 298 団体

お願い 登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)が変更された場合は速やかにご連絡ください。

編集・発行: 特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議  
神奈川県鎌倉市御成町18-10 鎌倉市市民活動センター

### NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10  
TEL: 0467-23-3000 内線 2655  
FAX: 0467-60-4555  
e-mail: npo@chive.ocn.ne.jp



### NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25  
(たまなわ交流センター 1階)  
TEL/FAX: 0467-42-0345  
e-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

### 時間外利用の責任者が登録制になります

6月から時間外の利用者は登録制になります。現在は運営会議に登録している正会員が利用責任者となったセンターの利用登録団体に限り、使用することができましたが、より多くの会員の方々にご利用いただけるよう、登録制にいたしました。

利用できる時間: 平日(月～土) 17:00～21:00

第1・3以外の日曜日、祝日

9:00～21:00

利用できる会員: 正会員、賛助個人会員、  
賛助団体会員(1団体から1～2名の登録)

登録の方法: センターで時間外利用の講習を受け、  
登録する。(登録証を発行)

講習開催日: 月曜日(大船センター)

火曜日午後・木曜日午前(鎌倉センター)

※いずれかの時間にお越しください。

※現在、時間外利用をしている正会員の  
方も、講習を受け登録してください。

※詳細は、同封の「時間外利用について」  
のお知らせをご覧ください。



### NPOセンターHPから会議室利用状況公開

鎌倉・大船センターの会議室利用状況が、6月1日より当センターのホームページから見る事ができ、空き状況等を確認することができます。

トップページの目次『会議室利用状況』をクリックしてご覧になってください。

予約については、今までどおり電話でお願いします。

電話で承った予約状況は、翌日には更新しておりますので、ご確認ください。

### パソコンからのプリントアウトの使用料変更

パソコンからプリントアウトする場合の使用料が変更になりました。(用紙込みの料金で次のとおりです)

◆ カラー(1枚): 40円 ◆ 白黒(1枚): 10円